

シンポジウム

HALL A：丸ビルホール

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

ワークショップ

HALL B：丸ビルコンファレンススクエア

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

シンポジウム (HALL A：丸ビルホール)

3月29日(火)

9:00-9:05	主催者挨拶 牧江 邦幸 日本経済新聞社 執行役員 メディアビジネス担当
9:10-9:20	挨拶 牧島 かれん デジタル大臣 行政改革担当大臣 内閣府特命担当大臣 (規制改革)
9:30-10:10	単独講演 デジタルスペース時代の夜明け ～Breaking Dawn of Digital Space Era～ 北尾 吉孝 SBI ホールディングス 代表取締役社長
10:20-11:20	パネル ESG 経営をいかに進化させるか ～持続可能なビジネスと暮らしに向けて～ 岩田 太地 NEC デジタルインテグレーション本部 本部長 今野 愛美 アビームコンサルティング デジタルプロセスビジネスユニット FMC セクター シニアマネージャー 関 龍彦 講談社 第二事業戦略部 担当部長・クリエイティブスタジオチーム長・『FRaU』編集長兼プロデューサー 鳥居 希 バリューブックス 取締役 いい会社探求 モデレーター： 小平 龍四郎 日本経済新聞社 論説委員会 論説委員 概要：行き過ぎた資本主義のゆがみを修正し、環境・社会・ガバナンスへの対応が企業の命運を決める ESG 時代に金融の果たす役割は大きい。財務情報に ESG に関する非財務報を融合させ、見えない価値をどう見えるようにしていき、企業は金融機関や市場との対話を進めるべきか。その時に求められるデジタルテクノロジーの可能性と限界とは。ESG 経営が、よりビジネスと暮らしの中核に浸透していくためにすべきことをパネラーと議論する。
11:30-12:20	パネル ライフスタイルとキャッシュレスの新たな関係に向けて ～家族・仲間・お店のインターフェイスをシンプルかつスムーズに～ 夏目 英治 リクルート MUFG ビジネス 代表取締役社長 瀧 俊雄 マネーフォワード 執行役員 CoPA 兼 Fintech 研究所長 佐俣 奈緒子 ヘイ 取締役 角田 和巳 三菱UFJフィナンシャル・グループ 決済企画部ペイメント戦略室 室長 モデレーター： 三輪 純平 リクルート プロダクト統括本部 シニアエキスパート 概要：平成から令和への時代の変化やコロナ禍における急速なデジタルシフトにより、人との接点、お店との関係など、人々のライフスタイルや価値観は大きく変わりつつあります。本パネルセッションでは、家族、友人、仲間、そして、お店との間での、新時代により変わりゆく人々の生活について考えつつ、新常态におけるライフスタイルと使いやすいキャッシュレスとの間のより良い関係について明らかにしていきます。
12:30-12:50	単独講演 二見 通 アフラック生命保険 取締役専務執行役員 兼 CTO(チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)CDIO(チーフ・デジタル&インフォメーション・オフィサー)
13:00-13:15	挨拶 黒田 東彦 日本銀行総裁
13:20-14:00	単独講演 AWS のビジネス戦略：金融デジタル変革を共創するパートナーへ 鶴田 規久 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 執行役員 金融事業統括本部 統括本部長 概要：アマゾン ウェブ サービス (AWS) は、2011 年の東京リージョン開設から 10 年を経て、日本の金融イン

ダストリーにおいても多くのお客様にご利用頂くようになりました。本セッションでは、日本の金融機関がどのようにそのビジネス課題の解決や新しいサービスの構築にクラウドを活用しているのか、また、AWS がその重要性に関する認識のもと、お客様のパートナーとしてそのビジネスを共創するためにどのような取組みを行っているのかをご説明します。

14:10-15:10

パネル 三井物産が挑戦する新たな金融ビジネス

前半：ジパングコインの可能性 ～投資と決済の二刀流～

加藤 次男 三井物産デジタルコモディティーズ代表取締役社長
三井物産 コーポレートディベロップメント本部 理事
多賀谷 彰 大阪取引所 執行役員
中田 裕朗 セブン銀行 戦略事業部 グループ長

モデレーター：

関口 慶太 日本経済新聞社 フィンテックエディター

概要：今年2月にジパングコインを発行開始した三井物産デジタルコモディティーズ株式会社、及び株式会社 JPX グループ・株式会社セブン銀行による、ジパングコインの投資商品・決済手段の機能に関するパネルディスカッション

後半：デジタルで切り拓く、誰でも出来るオルタナティブ投資

上野 貴司 三井物産デジタル・アセットマネジメント 代表取締役社長
松本 勇気 LayerX 代表取締役 CTO 三井物産デジタル・アセットマネジメント 取締役

モデレーター：

手嶋 浩己 LayerX 取締役 XTech Ventures 代表パートナー

概要：「デジタル」を切り口に、不動産・インフラ等のオルタナティブ投資の民主化、資産形成の課題解決、新しい形のファイナンスに取り組む三井物産デジタル・アセットマネジメント社と、ソフトウェアエンジニアリング力を武器に産業界のDXに取り組むスタートアップ LayerX 社の3代表によるパネルディスカッション

15:20-16:20

シンポジウムデモステージ

アクイアジャパン 保険業界の非対面アプローチ最前線 ～契約者・従業員向け Web サービスの取り組み事例のご紹介

小林 直登 アクイアジャパン 営業部 アカウントエグゼクティブ

ダイナトレック DYNATREK を用いた、金融機関での DX 戦略実現のためのデータ活用について

佐伯 慎也 ダイナトレック 取締役 プロダクトマネージャー

キーエンス データ活用で金融機関を変える！キーエンス流データ活用術（予告編）

柘植 朋紘 キーエンス データアナリティクス事業グループ マネージャ

NTT コムオンライン フィンテックアプリ・Web サービスをデータから成功へ導く Mixpanel のご紹介

谷田部 丈夫 NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション
Mixpanel Data Consultant

ストライプジャパン 「インターネットの GDP を拡大させる」～ Stripe のミッションとソリューション～

ダニエル・ヘフェルナン ストライプジャパン 共同代表取締役

16:30-16:50

単独講演 「新しい日常」におけるビジネスと暮らしの変化

高島 誠 全国銀行協会会長 三井住友銀行頭取 CEO（代表取締役）

17:00-17:20

単独講演 金融業界のDX推進に必須のプラットフォームとは

小澤 正治 トレジャーデータ最高執行責任者（COO）

概要：昨今の金融業界では、業界内の規制緩和と、デジタル・データネイティブ企業や小売業などの業界外企業の相次ぐ参入により、競争が激化しています。そうした中、企業が保有するデータとその活用レベルは顧客理解の幅・深度に大きく影響し、競争優位性を築く上での大きな要素となっています。トレジャーデータが提供する「CDP」は、あらゆる顧客データを統合し、オンライン/オフラインをまたいだ施策実行の土台となる顧客データハブとして、数多くの企業のDXを支援しています。Treasure Data CDPでDXを推進する企業の事例も示しながら、金融機関が今日指すべきDXのあり方を提示します。

17:30-18:20

パネル デジタル庁が推進する経済社会のデジタル化 ～契約・決済データを活用した新たな金融ビジネス創出について～

千葉 孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO
富山 直道 Biz Forward 代表取締役社長

星川 高志 クラウドキャスト 代表取締役
出光 啓祐 大阪ガス 企画部 DX 推進室 副課長

モデレーター：

大久保 光伸 金融庁 参与 デジタル庁 ソリューションアーキテクト

概要：デジタル庁が重点課題に掲げる「企業間の取引におけるデジタル化推進」は、2023 年のインボイス制度導入、2024 年の PSTN の廃止、2026 年の約束手形の廃止といった電子化促進の契機に合わせ、短期的にはシステム間の連携のための標準化、中長期的には企業間取引のデータを活用した経営 DX の進展やビジネスの創出を目指す。様々な取り組みの先にどのような新しいビジネス像を描いているか、パネルディスカッションを行う。

シンポジウム HALL A：丸ビルホール			ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア		
3月29日（火）	3月30日（水）	3月31日（木）	3月29日（火）	3月30日（水）	3月31日（木）

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール）

3月30日（水）	
9:00-9:05	<p>挨拶</p> <p>鈴木 俊一 財務省財務大臣 内閣府特命担当大臣（金融）</p>
9:10-10:00	<p>パネル 拡大する分散型金融への対応</p> <p>松尾 元信 金融庁 総合政策局局長</p> <p>松尾 真一郎 ジョージタウン大学 Department of Computer Science 研究教授 NTT リサーチ ブロックチェーン研究グループ ヘッド</p> <p>バレリー シュシェパニャク 米国証券取引委員会 Strategic Hub for Innovation and Financial Technology (FinHub)ディレクター</p> <p>ヤツェク・チャルネッキ ハーバード大学</p> <p>モデレーター： 牛田 遼介 金融庁 総合政策局総合政策調整官</p> <p>概要：DeFi やステーブルコインと呼ばれる分散型金融が拡大を続ける中、マネーロンダリングへの対応など分散型金融がもたらすリスクへの対応が喫緊の課題となっており、当局のモニタリングの在り方もアップデートしていく必要がある。他方、ブロックチェーン・分散型金融がもたらしうるイノベーションの可能性も忘れてはならない。リスクへの対応とイノベーションの両立に向けて、日米の当局者、DeFi コミュニティ関係者、アカデミアが議論を行う。</p>
10:20-11:10	<p>パネル クライメートテックの現状と未来</p> <p>末廣 孝信 三井住友銀行 ホールセール統括部サステナブルビジネス推進室部長</p> <p>馬田 隆明 国立大学法人東京大学 FoundX ディレクター</p> <p>北 祐樹 Gaia Vision 代表取締役社長 東京大学生産技術研究所 特任研究員</p> <p>カワモリ ケンタロウ Persefoni AI, Inc. CEO 兼 共同創業者</p> <p>モデレーター： 池田 賢志 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー</p> <p>概要：企業や金融機関における気候変動影響の定量的な把握においては、データの不足や分析手法の未成熟など様々な課題が指摘されている中、AI やデータ分析等先進的な技術を活用した、通称「クライメートテック」と呼ばれる企業が注目をされている。本セッションでは、このようなクライメートテック企業が提供する具体的なソリューションを紹介、それらがわが国の金融市場でどのように活用を出来できるのかについて、ディスカッションを行う。</p>
11:30-12:20	<p>パネル 責任ある行動が導くデジタルイノベーション</p> <p>河合 祐子 Japan Digital Design 代表取締役 CEO</p> <p>須藤 憲司 Kaizen Platform 代表取締役</p> <p>野村 充 富山第一銀行 取締役頭取</p> <p>モデレーター： 三木 康平 金融庁 総合政策局総合政策調整官</p> <p>概要：人々の生活様式の変化や企業のビジネスモデルの見直しに対応すべく、金融分野でも、デジタルの活用により、顧客一人ひとりに合ったサービスを提供していく必要がある。本セッションでは、金融機関がデジタルイノベーションに取り組むにあたり、経営者が方向性や時間軸などを明確に示し、企業文化を変えながら組織全体を動かすことの重要性や顧客体験の向上につながる技術に秀でた企業との連携により解決していく課題について議論する。</p>
13:20-14:10	<p>パネル 世界に開かれた国際金融センターの実現</p> <p>高田 英樹 金融庁 総合政策局 課長 財務省 主計局 主計官</p> <p>伊藤 隆敏 コロンビア大学 国際関係・公共政策大学院 教授 政策研究大学院大学 客員教授</p> <p>大関 洋 ニッセイアセットマネジメント 代表取締役社長</p> <p>スティーブン・フィッツジェラルド AO アファーマティブ・インベストメント・マネジメント・パ</p>

モデレーター：

中川 彩子 金融庁 監督局参事官（資産運用）

概要：日本が国際金融センターとしての機能を強化していくことの意義、海外から見た日本の魅力を踏まえたいう
えて、足元の取組を評価するとともに、今後、動きを一層加速していくために求められることについて、国際金
融に関わる官民の様々な立場のパネリスト達で意見交換をします。また、国際金融センターを目指していく上
でのサステナブルファイナンスの重要性についても議論します。

14:30-15:20

パネル 日本における新たな金融サービスの現状と展望

尾崎 有 金融庁 総合政策局参事官

山本 真人 メルペイ CEO

小野沢 宏晋 GMO あおぞらネット銀行 企画・事業開発グループ 執行役員/企画・事業開発グループ
グループ長

モデレーター：

丸山 弘毅 インフキュリオン代表取締役社長 Fintech 協会常務理事

概要：デジタル化の進展により、プラットフォーム（金融・非金融サービスをワンストップで提供）、BNPL、
金融サービス仲介業者など、新たな形態での金融サービスの提供が拡大している。日本におけるこれら新しい金
融サービスの可能性やリスク、金融規制上の論点等について議論する。

15:40-16:30

パネル ブロックチェーン時代の AML/CFT:FATF 改訂暗号資産ガイダンスと 今後の展望

ケン・メンツ Financial Action Task Force 政策アナリスト

ジョン・フィッシュマン アメリカ財務省 テロ資金調達・金融犯罪局

マルコム・ライト Global Digital Finance アドバイザリーカウンシル副議長 AML ワーキング
グループ共同リード

ペレ・ブラエンドガード Notabene 共同創業者 CEO

モデレーター：

羽淵 貴秀 金融庁 国際室国際政策管理官

概要：本セッションのテーマは、金融活動作業部会（FATF）による「暗号資産及び暗号資産交換業者に対するリ
スクベース・アプローチに関するガイダンス」改訂版（2021年10月公表）の主なポイントおよび、いわゆ
るステーブルコイン、P2P 取引、非代替性トークン（NFT）、分散型金融（DeFi）等を含む、実施上の課題です。
議論では、各国や FATF、民間セクター（暗号資産交換業者、エンジニア、アカデミア等）における FATF 基準実
施に向けたアプローチ、AML/CFT とイノベーションの2つの目的の実現に向けた課題、暗号資産分野の将来の
展望等についても触れる予定です。本セッションでは、FATF コンタクト・グループ（暗号資産関連）の共同議長
である金融庁・羽淵国際政策管理官がモデレーターを務めます。

16:50-17:40

パネル 金融・決済インフラの未来

中島 淳一 金融庁 長官

楠 正憲 デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ
デジタル庁統括官/デジタル社会共通機能グループ長

沖田 貴史 ナッジ 代表取締役社長 Fintech 協会 代表理事会長

神山 一成 日本銀行 決済機構局 局長

モデレーター：

三浦 知宏 金融庁 総合政策局参事官

概要：CBDC やステーブルコイン、既存の資金決済インフラのアップデート、多様な電子決済サービスの登場な
ど、様々な決済システム・手段に関する議論が各所で進展している。本セッションでは、我が国の将来の金融・
決済インフラの将来像を関係者間で共有することが重要であるとの認識の下で、政府及び民間のエキスパートに
より、現在の金融・決済インフラが抱える課題や今後のあるべき姿について、多面的な議論を行う。

17:55-18:00

挨拶

黄川田 仁志 内閣府副大臣（金融）

シンポジウム HALL A：丸ビルホール			ワークショップ HALL B：丸ビルコンファレンススクエア		
3月29日(火)	3月30日(水)	3月31日(木)	3月29日(火)	3月30日(水)	3月31日(木)

シンポジウム (HALL A：丸ビルホール)

3月31日(木)	
9:00-9:50	<p>パネル 金融 x サステナビリティが生み出す新たな価値</p> <p>藤井 達人 日本マイクロソフト エンタープライズサービス事業本部 業務執行役員 金融イノベーション本部 本部長 日本ブロックチェーン協会 理事</p> <p>中島 徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長 CEO</p> <p>副島 豊 日本銀行 金融研究所 所長</p> <p>末廣 孝信 三井住友銀行 ホールセール統括部サステナブルビジネス推進室 部長</p> <p>モデレーター： 尾山 耕一 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング ストラテジック インパクト パートナー EY Japan SDGs カーボンニュートラル支援オフィス メンバー</p> <p>概要：気候変動や生態系の問題が重要性を増す中、金融がかつてないほど持続可能性（サステナビリティ）を意識した動きを求められる時代になってきた。経済や社会、自然環境を持続可能なものにするために必要なお金の流れはどうあるべきか、またテクノロジーはそれをどうサポートできるか。金融とサステナビリティを掛け合わせたときに生まれる新しい価値をテーマに、議論する。</p>
10:00-10:50	<p>パネル "ぬくもり DX"で活性化する地域金融・中小企業 ～成長の足がかりをつかむ～</p> <p>柘植 朋紘 キーエンス データアナリティクス事業グループ マネージャ</p> <p>佐伯 卓也 ダイナトレック 取締役</p> <p>柴田 秀樹 千葉銀行 デジタル改革部 部長</p> <p>西山 和宏 関西みらい銀行 代表取締役 兼 副社長執行役員 関西みらいフィナンシャルグループ 代表取締役 兼 執行役員</p> <p>モデレーター： 大久保 光伸 金融庁 参与 デジタル庁 ソリューションアーキテクト</p> <p>概要：金融のデジタル化やフィンテックの導入によるデジタル社会創生の取り組みが進む中、地方金融機関が、DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入を活性化する事例が増えている。地域の個性や特色を生かした人と人のつながりを大事にする変革（ぬくもり DX）が取引先企業を巻き込む形で動き出し、地方創生への足がかりになるとの期待が高まる。</p>
11:00-11:50	<p>パネル Embedded Finance による金融サービスの広がりとの融合</p> <p>鶴田 規久 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 執行役員 金融事業統括本部 統括本部長</p> <p>山本 真人 メルペイ代表取締役 CEO</p> <p>荒濤 大介 ストライブジャパン共同代表</p> <p>土屋 輝直 大日本印刷 情報イノベーション事業部 PF サービスセンター マーケティング・決済プラットフォーム本部本部長</p> <p>小川 恵子 EY Japan RegTech リーダー EY 新日本有限責任監査法人 金融事業部 パートナー（公認会計士）</p> <p>概要：金融界に革新的な変化を起こし、従来にないカスタマーエクスペリエンスをもたらすと期待される Embedded finance。まさに非金融機関と金融機関の垣根が取り払われ、その隔たりが限りなく0になることは、すでに不可逆的な流れとなっている。今回は、Embedded Finance をまさに牽引する各分野のキープレイヤーをパネリストとして迎え、現在そして未来について熱く語る。</p>
12:00-12:20	<p>単独講演 金融業における非金融ビジネスへの挑戦</p> <p>三嶋 英城 SMBC クラウドサイン代表取締役社長</p> <p>概要：SMBC クラウドサイン（株）は「日本のレガシーな風習・業務プロセスの変革」をビジョンに掲げ、三井住友フィナンシャルグループと弁護士ドットコムとのジョイントベンチャーとして誕生しました。SMBC グループがリーガルテックという非金融領域へ参入した背景、設立後の軌跡を交え、金融業における非金融ビジネスでの可能性について考察します。金融業界における新規事業創出の一助となれば幸いです。</p>
12:30-12:50	<p>シンポジウムデモステージ</p> <p>アフラック生命保険 ～ ビジネスと暮らしをつなぐ取り組み「アフラックミラー」の活用 ～</p> <p>増田 修太 アフラック生命保険 デリバリーコーディネーション部 課長代理</p>
13:00-13:50	<p>パネル 金融プラットフォームになるのは誰だ ～DX 時代のリーダーの条件～</p>

谷崎 勝教 三井住友フィナンシャルグループ執行役専務グループ CDIO
川島 克哉 新生銀行 代表取締役社長
二見 通 アフラック生命保険 取締役専務執行役員 兼 CTO(チーフ・トランスフォーメーション・
オフィサー)CDIO(チーフ・デジタル&インフォメーション・オフィサー)
飯田 哲夫 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 金融事業開発本部 本部長

モデレーター：

佐藤大和 日本経済新聞社編集局 NIKKEI Financial 編集長

概要：企業経営や社会のあり方に変革が求められる DX（デジタルトランスフォーメーション）の時代。金融サービスも徹底した顧客視点に立った新しい価値の提供を求められている。そんな時代にプラットフォームの地位を築くのは誰か？ また、そのための条件とは？

14:00-14:50

パネル 個人年金の見える化から始まる資産形成の新潮流

村井 英樹 内閣総理大臣補佐官・衆議院議員（埼玉1区）
斎藤 正勝 ミンカブ・ジ・インフォノイド 取締役副社長 兼 COO
畑 加寿也 justInCase 代表取締役
justInCaseTechnologies 代表取締役

モデレーター：

瀧 俊雄 マネーフォワード 執行役員 CoPA Fintech 研究所長

15:00-16:00

インパクトピッチ・ファイナル

五常・アンド・カンパニー
Global Mobility Service
スマートバンク
cryptomall japan
トリニティ・テクノロジー
MonetaGo, Inc.
サステナブル・ラボ
TRUSTDOCK

16:10-17:10

シンポジウムデモステージ

トレジャーデータ 顧客を深く理解し、一貫性のある顧客体験を創る顧客データ基盤、
Treasure Data CDP とは？
佐藤 純平 トレジャーデータ エバンジェリスト
Nota コールセンターの DX 化～非対面型の顧客接点を売場につなげるテクノロジーの活用手法～
洛西 一周 Nota 代表取締役/CEO
TRUSTDOCK デジタル身分証サービス「TRUSTDOCK」
千葉 孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO
クレジットエンジン 融資業務と債権回収業務のデジタル化を支援する CE Online Lending
Platform
内山 誓一郎 クレジットエンジン 代表取締役社長
Authlete API 認可エンジン「Authlete」
工藤 達雄 Authlete ソリューション戦略担当 VP

17:20-18:20

パネル フィンテックは“新しい資本主義”を生み出せるか

森川 夢佑斗 Ginco 代表取締役
内山 誓一郎 クレジットエンジン 代表取締役社長
洛西 一周 Nota 代表取締役 CEO
サム・ハウロン Episode Six Japan 職務執行者社長
柳川 範之 東京大学大学院 経済学研究科 教授

モデレーター：

山田 康昭 GiveFirst 代表取締役 CEO 日本経済新聞社 SUM 事務局アドバイザー

概要：いま、世界経済は気候変動やパンデミック、格差拡大といった課題で大きく揺さぶられている。フィンテック（金融とテクノロジーの融合）は、それらの課題解決をリードする役割として期待されているが、果たして実現可能なのか。社会課題の解決に意欲を持つフィンテックスタートアップと、アカデミックなアプローチで課題解決に挑む研究者が集い、新しい視点で未来を語る。

18:30-19:00

インパクトピッチ表彰式

セッション情報は 2022/03/28 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

FIN/SUM 事務局

シンポジウム

HALL A：丸ビルホール

ワークショップ

HALL B：丸ビルコンファレンススクエア

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア)

3月29日(火)

10:00-10:30

アジャイルな保険開発体験 ～インシュアテックスタートアップの開発現場のリアル～ powered by justInCase

渡辺 良太 justInCase 取締役 CPO
藤田 通紀 日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業本部
パートナー 保険サービス部担当 兼 保険ソートリーダー

モデレーター:

大畑 貴裕 justInCaseTechnologies CTO

概要: 不確実性の時代、社会や技術の移り変わりに応じてお客様が求める保険商品を提供していくためには、アジャイル開発が欠かせません。justInCase は、サンドボックス制度を活用した日本初の「わりかん保険」を世に送り出し、コロナ助け合い保険を1ヶ月で提供するなど、迅速・柔軟に保険商品を提供してきました。インシュアテックスタートアップでの開発現場での事例を交え、アジャイル開発について議論します。

10:40-11:20

DX からプラットフォームへの進化 ～「日経 ID」決済への Stripe の導入 powered by ストライブジャパン

倉持 陽子 日本経済新聞社 DX 推進室部長
嵯峨 昌郎 日本経済新聞社 DX 推進室部次長
安部 草平 ストライブジャパン ソリューションアーキテクト

モデレーター:

金山 紀果 ストライブジャパン アカウントエグゼクティブ

概要: Stripe は「インターネットの GDP を拡大させる」ミッションを持つ、世界に展開する決済インフラプロバイダーです。日経電子版を支える「日経 ID」プラットフォームにおいて最重要な決済基盤として Stripe を 2020 年に導入いただきました。決済において UX (ユーザ体験) と信頼性をどのように両立させたか、開発時のエンジニアの体験談を披露しつつ今後の事業展開についてご紹介いたします。

11:30-12:10

融資業務の DX と生産性向上実現に向けてーシステム統合の第一歩とは powered by nCino

野村 逸紀 nCino 代表取締役社長

概要: 金融機関が融資業務システムにクラウドを導入し、データ中心の運営に変革することで飛躍的な効率化を実現し、新規市場開拓など高付加価値業務へシフトすることができますが、銀行においては従来より構築された多くのシステムや業務が存在しそれらを統合するクラウドソリューションの導入が難しいという現状があります。本セッションでは、行員のシステム入力負荷を軽減し生産性を向上するためのクラウド導入の効果と、導入に向けてのステップについてご紹介いたします。ぜひご参加ください。

12:20-13:20

MUFG をパートナーに進めるオープンイノベーション ～顧客 DX 支援・ESG 対応を 例に powered by MUFG 三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ

三浦 一大 Business Tech 代表取締役
渡慶次 道隆 ゼロボード 代表取締役
野呂 崇享 三菱 UFJ 銀行 法人・リテール企画部 副部長
齊藤 健一 三菱 UFJ 銀行 デジタルサービス企画部 DX 室 次長

モデレーター:

佐野 尚志 三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ 戦略投資部長

概要: 日本企業の最重要課題である DX 支援・ESG 対応を促進するため、国内最大の金融機関として MUFG も本領域への取り組みを加速。MUFG 単体ではその目的を達成することは難しいため、オープンイノベーション戦略を活用し、外部企業と共に DX 支援・ESG 対応を実現していく。本セッションでは、本枠組み内にある連携スタートアップおよび MUFG に協業に至った経緯や目指す姿についてお伺いし、今後の連携先への示唆を提示する。

13:30-14:20

様々な決済サービスの形が中小企業や地域活性化を支援。その取り組みをそれぞれの 分野のリーダー達に聞く powered by Episode Six Japan

	<p>サム・ハウロン Episode Six Japan 職務執行者社長 河崎 伯彦 北國銀行カード部カードグループ長 姥貝 徳尚 USEN-NEXT HOLDINGS 決済事業室 室長</p> <p>モデレーター： 西村 友希 Episode Six セールス シニアセールスマネージャー</p> <p>概要：決済において様々な形で活躍するリーダーズセッション。コロナ禍で加速する非対面化とキャッシュレス化、一方でそれに対応する決済手段提供で業務効率や顧客獲得、満足度向上を目指す中小企業。首都圏のみならず地方においても検討が進む中、Pay 事業や銀行、プラットフォームそれぞれのプレイヤーはどんな形で中小企業と消費者を後押しするのか。彼らが日頃抱えている課題や、業界リーダー達の取り組み、これまでの経験から感じる現在のトレンドなどをシェアします。</p>
14:30-15:30	<p>金融ビジネスの変革とクラウドの提供価値 ～インフラプロバイダーからビジネスパートナーへ進化するクラウドサービス～ powered by アマゾン ウェブ サービス ジャパン</p> <p>服部 浩久 住信 SBI ネット銀行 執行役員 ネオバンク事業部 横山 隆介 日本取引所グループ 常務執行役員 CIO 内川 淳 三井住友フィナンシャルグループ 常務執行役員 鶴田 規久 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 執行役員 金融事業統括本部 統括本部長</p> <p>モデレーター： 飯田 哲夫 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 金融事業開発本部 本部長</p> <p>概要：金融インダストリーにおけるクラウドの位置付けは、低コストのインフラからビジネス戦略の遂行における主要な手段へと変わりつつあります。本セッションでは、金融業界のイノベーションをリードするパネリストをお迎えし、各社の事業戦略においてクラウドをどのように位置づけ、その活用が競争力の獲得やレジリエンスの向上にどのように繋がっているのか、またテクノロジーから価値を引き出すためにどのような取り組みを行っているかを共有頂きます。</p>
15:40-16:20	<p>海外スタートアップショーケース</p>
16:30-17:10	<p>オルタナティブデータ活用と課題 powered by QUICK</p> <p>杉本 将之 KDDI データマネジメント部 グループリーダー 瀧本 祐介 KDDI データマネジメント部 課長補佐 大島 枝里子 本田技研工業 コネクテッド戦略企画開発部 アシスタントチーフエンジニア 大内 賢一 国際航業 ロケーションサービス部 プラットフォームグループ 兼 技術企画グループ 担当課長</p> <p>モデレーター： 山内 康弘 QUICK サービスプロダクト本部 副本部長</p> <p>概要：QUICK は「オルタナティブデータ活用と課題 ～データ利活用の二刀流とは～」をテーマに、共創企業とパネルディスカッションを開催します。QUICK DATA FACTORY を立ち上げて1年が経ちましたが、現状日本では、オルタナティブデータは黎明期であり、まだ広く活用されていません。今後のデータ利活用を推進するため、新たに生まれたオルタナティブデータを紹介するとともに、データホルダーから見たデータの価値や課題を共有します。</p>
17:20-18:10	<p>海外フィンテックの日本進出について、課題とその解決方法 powered by 金融庁</p> <p>ピーターケネバン ベイバル 日本事業統括責任者 野村 逸紀 nCino 代表取締役社長 小川 隆浩 島根銀行 人事財務グループ付次世代バンキングシステム担当部長 越智 一真 NIUM Japan カントリーマネージャー</p> <p>モデレーター： 松澤 翔太 金融庁 総合政策局総合政策課フィンテック室課長補佐</p> <p>概要：フィンテックの領域において、日本は参入障壁が高い国だと言われる。ではなぜ日本進出は難しいのか、そしてその課題をどのように解決すれば事業を展開させることができるのかを議論していく。既に日本進出済みの海外フィンテック企業から成功談・失敗談を聞くのはもちろんのこと、直近海外フィンテックと協業した実績を持つ日系金融機関からも意見を聞くことで、海外フィンテック企業にとっても日系金融機関にとっても今後に向けた心構えができるパネルセッションにしたい。</p>

シンポジウム

HALL A：丸ビルホール

ワークショップ

HALL B：丸ビルコンファレンススクエア

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア)

3月30日(水)

10:10-11:10	<p>マネーフォワードと MUFG が取り組む中小企業向けの新しい資金供給手段 powered by 三菱 UFJ 銀行</p> <p>林 博之 Biz Forward 取締役 家田 明 マネーフォワードケッサイ 取締役会長 橋本 隆之 Biz Forward ファイナンス事業本部 本部長 廣田 彩 三菱 UFJ 銀行 デジタルサービス企画部</p> <p>概要：マネーフォワードと MUFG が昨年合弁会社を設立。中小企業をメインターゲットとした新しい資金供給手段としてオンラインファクタリングサービスの提供を開始。サービス開始の狙いや、オンラインファクタリングサービスの今後についてディスカッション</p>
11:20-12:00	<p>オープンソース Drupal を活用して挑む日本の DX イノベーション powered by アクイアジャパン</p> <p>小坂 慎吾 アクイアジャパン カントリーマネージャー</p> <p>概要：政府統一 Web サイトの実証事業に Drupal が採用されるなど、日本の公共エリアで OSS の Drupal 活用される機会は増えてきています。当セッションでは、OSS の活用によって起こりうる DX のイノベーションと OSS の活用メリットをアクイアの視点で解説するとともに、OSS Drupal を活用してアクイアジャパンがどの様に日本の DX に貢献していくことを考えているのかをご紹介します。</p>
12:10-12:40	<p>顧客本位の取組方針に続々採用！ 101 社が活用する特許取得コンサルツールの全貌 powered by ノースアイランド</p> <p>嶋 敬介 ノースアイランド 代表取締役 岩永 慶子 ノースアイランド 専務取締役</p> <p>概要：金融リテラシーの提供をベースに最適なプロダクトを顧客に提供するための、金融機関向けツールをご紹介します。「IT なのに FP 会社、だからおもしろい。」FP 会社が提供する顧客リレーションの実戦に裏打ちされたコンサルツールです。</p>
12:40-13:00	<p>海外スタートアップショーケース</p>
13:00-14:00	<p>マイクロソフトのサステナビリティへの取組みと金融インダストリーにおける協業事例紹介 powered by マイクロソフト ジャパン</p> <p>藤井 達人 日本マイクロソフト エンタープライズサービス事業本部 業務執行役員 金融イノベーション本部長 日本ブロックチェーン協会 理事</p> <p>概要：サステナビリティ、ESG に関する世界の関心はますます高まっています。マイクロソフトは 2030 年にカーボンネガティブ、2050 年には創業以来排出してきた温室効果ガスを全て削減するコミットメントを発表しました。本セッションでは、マイクロソフト自身のサステナビリティに関する取組みと、金融インダストリーにおけるお客様との協業事例をご紹介します。</p>
14:10-15:10	<p>金融業界の環境変化と、銀行の取組み事例から考える「顧客に届けるべき新しい体験」 powered by トレジャーデータ</p> <p>河合 祐子 Japan Digital Design 代表取締役 CEO 大内 伸幸 三井住友銀行 リテール IT 戦略部 デジタル推進第三グループ長</p> <p>モデレーター： 堀内 健后 トレジャーデータ 取締役</p> <p>概要：社会全体で急速にデジタルシフトが進む中、金融機関を利用する顧客の「体験への期待値」は、業界を超えた水準に設定されつつあります。金融機関は、顧客に「新しい体験」を届けるために情報（データ）をどのように見なければよいか。金融機関を取り巻く環境変化と、これからの顧客体験のあり方について、銀行の取組み事例を交えながら議論を深めます。</p>
15:20-16:00	<p>地銀・クレジット・保険会社の先進事例に学ぶ！ カスタマーサポート領域でのフィテック成功例 powered by Nota</p> <p>石井 健吾 Nota 営業本部長</p>

概要：顧客接点がオフラインからオンラインへと大きく移行しました。こうした中で、非対面型コミュニケーションの効率化と、顧客満足度の向上を目指す上で、カスタマーサービス領域でのフィンテック活用の重要性が増えています。本セッションでは、地方銀行、クレジット会社、保険会社における先進事例を紹介しながら、カスタマーサポート領域のフィンテック成功例を紹介します。

16:10-17:20

NFT のルール形成と市場成長 powered by EY Japan

平 将明 衆議院議員 自由民主党 NFT 政策検討 PT 座長
椎名 茂 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング テクノロジーコンサルティング 顧問
斎藤 創 創・佐藤法律事務所 弁護士
森川 夢佑斗 Ginco 代表取締役

モデレーター：

荻生 泰之 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング ストラテジックインパクト パートナー/
フィンテックリーダー/ブロックチェーン・コンサルティング・ビジネスリーダー

概要：NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）は、デジタルアートや動画などのデジタルコンテンツに流動性を与える手段として世界的に大きな注目を集める一方、その商慣行や制度が確立されておらず、消費者保護の仕組みも十分ではない点が問題視されています。

本セッションでは、自由民主党 NFT 政策検討 PT 座長の平将明議員から政策の方向性について講演いただき、今後のルールの在り方や市場成長に向け、パネルディスカッションを行います。

17:30-18:20

これからの FinTech 時代をつくる人とは？ powered by デジタル庁

片岡 修平 Public Meets Innovation U40 Thinktank 理事 前・ロンドン駐在金融担当外交官
津脇 慈子 デジタル庁 企画官
藤井 達人 日本マイクロソフト エンタープライズサービス事業本部 業務執行役員 金融イノベーション本部長 日本ブロックチェーン協会 理事
平手 佑季 SMBC デジタルマーケティング 取締役
大久保 光伸 金融庁 参与 デジタル庁 ソリューションアーキテクト

モデレーター：

小川 久範 みずほ証券 イノベーション企業戦略部ディレクター
斉藤 舞 サークル・オブ・ライフ 代表取締役社長 兼 CEO

概要：環境変化を取り込みながら能動的にキャリア形成を進める有識者によるパネルディスカッション。FinTech でつながった 7 名の多様なバックグラウンドから、Web3.0 時代の人材育成や外部人材の活用・制度設計等、改善に向けた一歩を踏み出せるようなエッセンスをお届けします。（キーワード：リボルビング、リカレント教育、社内ベンチャー、MBA、価値観のノーマライズ、自発的な行動を促す仕組み、デザイン思考等）

シンポジウム

HALL A：丸ビルホール

ワークショップ

HALL B：丸ビルコンファレンススクエア

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

3月29日(火)

3月30日(水)

3月31日(木)

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア)

3月31日(木)

9:00-10:00

インパクトピッチ セミファイナリスト登場！！

Yamato さわかみ事業承継機構
クラウドクレジット
3PLATZ
Kiva
G-Bank Technologies OÜ / GIG-A
都市緑地
WDC
STANDAGE
バンクガード

10:10-11:10

CB-Techの最前線 4th-GIG: データの海に潜む果実 powered by 日本銀行

稲次 春彦 日本銀行調査統計局 企画役
左光 敦 日本銀行 金融研究所制度基盤研究課法制度研究グループ グループ長
田村 裕子 日本銀行 金融研究所 情報技術研究センター 企画役補佐
橋本 崇 日本銀行 決済機構局 企画役・ISO/TC 68 国内委員会事務局長

モデレーター:

別所 昌樹 日本銀行決済機構局 FinTech センター長

概要: わが国の Central Bank (CB) である日銀のリサーチから、「技術/データ」という切り口で選んだ4件を紹介するフラッシュトーク。第4弾の今回は、①オルタナティブデータを用いた消費指標の開発、②事業者の顧客情報利用を巡る法律問題、③チャージ型決済の実現方法とセキュリティ、④デジタル時代の金融サービスの相互運用性と標準化について、日銀の Tech リードが解説します。データの海に潜む果実は何か？

11:15-11:55

データ活用で金融機関を変える！ キーエンス流データ活用術 powered by キーエンス

齋藤 亜蘭 キーエンス データアナリティクス事業グループ コンサルティングデータサイエンティスト
水上 拓也 キーエンス データアナリティクス事業グループ コンサルティングセールス

概要: キーエンスの社名の由来は、Key of Science。営業利益率50%を超える高収益は、科学的で合理的なデータ活用が支えています。本セッションでは、前半は、「地方金融DXにおける“人材育成”の再定義」について。後半では、キーエンスの金融機関での具体的な伴走支援事例を、「データ分析ソフトウェア KI」のデモも交えご紹介いたします。

12:30-13:00

海外スタートアップショーケース

13:00-13:30

Authlete 導入企業に聞く: オープン API 強化の目的、そして API エコシステムのさらなる拡大で達成するイノベーションの未来 powered by Authlete

宮本 昌明 ゼロバンク・デザインファクトリー取締役 CIO みんなの銀行 執行役員 CIO
フェルナンド・ルイス・バスケス・カオ SBI デジタルアセットホールディングス 代表取締役社長
植月 修 伊藤忠テクノソリューションズ 金融ビジネス企画部 部長代行 C-FAPI Business Lead

モデレーター:

工藤 達雄 Authlete ソリューション戦略担当 VP

概要: Authlete 導入企業のキーパーソンに、オープン API 強化の目的、Authlete 導入の効果、また Financial-grade API (FAPI) / Client Initiated Backchannel Authentication (CIBA) を活用した今後のユースケースや展望についてお伺いし、API エコシステムのさらなる 拡大で目指すイノベーションについてディスカッション

13:40-14:20

金融機関における DX 実現のためのデータ活用戦略とは? -千葉銀行における CX 向上に向けたデータ活用の取り組み- powered by ダイナトレック

荒渡 謙太郎 千葉銀行 営業企画情報戦略室 室長
佐伯 卓也 ダイナトレック 取締役
佐伯 慎也 ダイナトレック 取締役 プロダクトマネージャー

概要：金融機関が蓄積してきた膨大なデータを、いかにCXの向上につなげるか--

金融機関のDX実現のためにはデータ戦略の変革が不可欠となっています。千葉銀行はDX戦略の推進を行っており、この一環としてDYNATREKなど新たなツールを活用。膨大なデータからお客様の事業や生活の中のニーズを可視化し、そこに最適な提案を行うデータ戦略を推し進めています。本セッションは千葉銀行とダイナトレックの対談により、金融機関における新たなデータ活用の姿に迫ります。

14:30-15:20

ホールセールCBDC：可能性の探求 powered by 日本銀行

トーマス・モーザー スイス国立銀行 代理政策委員
ソプネンデュー・モハンティ シンガポール通貨庁 チーフフィナンテックオフィサー
クリス・トンプソン オーストラリア準備銀行 決済政策局次長

モデレーター：

別所 昌樹 日本銀行決済機構局 FinTech センター長

概要：各国の中央銀行は、広く一般の人々がアクセスするリテール中央銀行デジタル通貨（CBDC）とともに、分散型台帳などの新技術を活用し、市場参加者間の資金決済の効率性を高めるホールセールCBDCの可能性も探求しています。最近、ホールセールCBDCの実験を行った3つの中央銀行（スイス国立銀行、シンガポール通貨庁、オーストラリア準備銀行）のプロジェクト責任者が一堂に会し、実験の動機・成果や、ホールセールCBDCの可能性・課題を議論します。

15:30-16:10

フィンテックアプリ・Webサービスを成功へ導く重要指標の見極め方 ～どのKPIを改善すれば、ビジネスがグロスするのか？～ powered by NTTコム オンライン

谷田部 丈夫 NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション
Mixpanel Data Consultant

概要：KPIマネジメントの重要性はよく知られているところですが、全てのプロダクト・サービスのグロースに適した共通の指標というものは存在しません。

銀行、証券、資産運用、キャッシュレス決済サービス、経理、保険、暗号資産、クラウドファンディング等、それぞれのプロダクトのビジネスゴールに適した指標を見つけることが重要です。

本講演では、皆様のビジネスの成長における重要指標を求めるために役立つフレームワークをご紹介します。

16:20-16:50

E6×DNP 外資系フィンテック企業と明治 9年創業の老舗印刷会社の新たな挑戦 powered by 大日本印刷

最上 敦 大日本印刷 情報イノベーション事業部 ICTセンターシステムプラットフォーム開発本部 部長
西村 友希 Episode Six セールス シニアセールスマネージャー
王 家林 Episode Six Japan ソリューションアーキテクト

モデレーター：

廣澤 恵司 大日本印刷 情報イノベーション事業部PFサービスセンターマーケティング・決済プラットフォーム本部 部長

概要：E6と大日本印刷。外資系フィンテックと日本の老舗印刷会社の協業の実態は、どうなっているのか？協業する上でのメリット・注意点や、成功のポイントなどについて、実際のプロジェクト事例を元に各社がビジネス・技術の両面から、本音で語ります。

セッション情報は [2022/03/28](#) 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

FIN/SUM 事務局